

カリキュラム

機構施設名： 静岡職業能力開発促進センター

実施機関名： 株式会社日本コンサルタントグループ

24-22-12-056-047

A.バックオフィス	システム導入	056 ITツール活用した業務改善
-----------	--------	-------------------

コースのねらい	業務の省力化や効率化を目指して、ITツールを活用することで業務改善を実現するために、ITツールの特徴と種類を理解し、自社業務に適切なITツールを選定するための知識を習得する。
---------	---

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	日 程			
				月 日	時刻		
講 義 内 容	1 ■ ITツールの種類と活用	(1)ITツールの基本【演習あり】 ITツール3つの効果①効率化、②共有化、③見える化に着目し重要性を解説します。また、ITツールの4つの形態(クラウド、オンプレミス、ローコード、委託開発)に分類しそれぞれのメリット・デメリットについて演習を通じて学びます。	1.0	令和6年 7月30日(火)	9:30~16:30		
		(2)さまざまなクラウドサービス さまざまなクラウドサービスを、事例やデモを加えながら紹介します。多くの企業で利用しやすいクラウドストレージ、クラウド会計、グループウェアの他、工程管理、勤怠管理、経費精算、名刺管理、ワークフロー管理、飲食・小売り向けサービスなど受講生の業種に合わせてITツールを紹介します。	1.0				
		(3)最近話題のITツール【演習あり】 最近提供される強力なツールである、ChatGPTや無料で使えるRPA(PC自動化ソフトウェア)、ローコードアプリなどをデモを交えて紹介します。また、具体的な活用方法を解説します。	1.0				
	2 ■ ITツールの業務適用	(1)DXと業務効率化 なぜ今新たな付加価値を生み出すDXが求められているのか。また、DX推進のうえでITツールの導入と業務効率化の位置づけを解説します。	1.0			ポリテクカレッジ 浜松	昼休憩 11:45~12:45
		(2)業務分析の手法【演習あり】 ITツールをどの業務に適用するのかを検討するため、①業務フローから分析、②紙から分析、③ツールから分析するアプローチを紹介します。研修ではシンプルで取り組みやすい「②紙から分析する」演習を行い実践的なコンサル事例を踏まえながら自社の業務のどこにITツールを適用すべきかを検討してもらいます。	1.0				
		(3)業務改善とITツール導入 実際にITツールを入れる場合の8ステップを紹介し、特にクラウドサービスにおける「テスト導入」の方法を解説します。また、よく発生する問題や導入・運用コストのポイントなどを紹介します。また、委託開発する場合の発注方法でよく発生する問題やコツを紹介します。	1.0				
合計時間			6時間				

カリキュラム作成のポイント

IoTやデジタル技術が苦手な人に対しても基本から優しく解説します。また、身近な事例を多く取り入れ、具体的な理解を促進します。グループ内の議論や最新の話題を提供しながら、楽しい雰囲気を重視しながら進行し、ワークショップを通じて、IoTとデータビジネスの勘所を理解します。参加者同士の交流を進め、広い視野と知見を育みます。